

KIDS センター Cafe



with たねラボ



第2回 子どものことばの発達

子どもたちの発達相談の現場に関わっていると、お母さんやお父さんから、子どものことばを心配する声をお聞きすることがよくあります。

わたしたち大人は、子どものことばの発達について「ママ」「パパ」など、意味のあることばを話せるかどうか注目しがちです。もちろん、それとても大切な要素です。しかし、ことばには他にもいろいろな要素があり、たとえば、お母さんが「バイバイ」と言うとき手をふって応えてくれたり、「ありがとう」と言うとコクンと頭を下げて反応してくれるなどの、子どもたちの何気ない動作もことばの成長のための大きなステップです。

その他にも、子どもたちは、ほしいものや気になるものがあると、「あーあー」と言いながら指をさして教えてくれます。これも、お母さんやお父さんに対して、助けてほしい、一緒に興味を共有したいという子どもたちからのメッセージです。

まだ自由にことばを話せない子どもたちは、いろいろな方法でまわりの大人に自分の気持ちをがんばって伝えようとしています。その小さなサインをゆっくり見守ってあげられるといいですね。

たねラボは、金城学院大学 加藤大樹研究室による、心理学の研究成果を地域にわかりやすく伝えていく取り組みです。

